

公益財団法人日本郵趣協会
2015年度事業報告（2015年4月1日～2016年3月31日）

【事業活動の総括】

2015年度は公益財団法人化5年、JAPEX開催50回、JPSオークション開催500回という節目の年を迎えた。一方、郵便切手がかつてのように利用されなくなり、社会一般における郵便切手文化への関心は薄くなり、当協会活動の中核となる会員数も減少、厳しい財政状況に直面している。

そこで、郵趣を社会一般により広く浸透させ、心豊かな潤いのある社会創造に貢献していく当協会の目的実現に向けて、2015年度は「郵趣再生」の初年度として、事業効果が発揮できるように委員会体制を再編・強化し、各事業に全力を挙げて取り組んできた。その結果、当初マイナス予算でスタートせざるを得なかった収支予算は、効果的な事業支出を進めるとともに収入財源の確保・拡大に努めたことにより、2期連続で黒字決算で終えることができた。

普及啓発事業では、切手オリエンテーション、郵趣入門ガイド、ホームページ及びソーシャル・ネットワークを活用して、情報発信を強めてきた。また、全国郵趣大会2015in静岡、切手の集いを開催するなど、全国各地で郵趣活動の結びつきを図った。

展覧会事業では、スタンプショウ2015は「つながる想い つながる切手」、第50回を迎えた全国切手展<JAPEX2015>は「切手と歩んで50年 未来へつなごう郵便文化」を開催テーマに、スタンプショウは誰もが気軽に参加して楽しめるイベント、JAPEXは学術調査研究の成果を高める競争切手展として、より多様なニーズに応えた。

出版事業では、新たに『さくら日本切手カタログ』の姉妹編として『テーマ別日本切手カタログ』を刊行、2016年の当協会70周年を記念する『日本普通切手専門カタログ』の刊行準備を進めた。また『郵趣』は切手を楽しむ雑誌、『郵趣研究』は専門誌としての役割分担を明確にして、切手の魅力、素晴らしさをこれまで以上に伝える誌面作りに努めた。

これら普及啓発、展覧会、出版の3つの事業は、それぞれ独立するものではなく、互いに結び付き合い相乗効果を上げられるように展開を図った。

流通促進事業では、第500回JPS記念オークションは2回に分けて開催、文化的・歴史的資料を次世代に着実に継承していき、当協会の財政安定化にも寄与した。また企業が果たすべき社会貢献への関心が高まる中で、多くのパートナー企業・団体に「手紙を書こう！プロジェクト2015」へ参画していただき、協働プロジェクトを増進した。

さらに、これまでの運営協議会は会員増強協議会に発展させ、「入会の魅力を高める」、「身近な人へのアプローチ」、「郵趣市場に新しい切り口を」、「会員増強のためのツール」の4項目を目標にした。具体策として、WEB会員の開設、一人が一人の仲間を増やす、新規イベント「Otegamiフリマ」、終身維持会員の募集などに取り組んできた。

当協会は1946年の任意団体創立から70年近く、国や自治体等からの助成金に依存せず、郵趣の発展を願う多くの方々・団体からの会費、寄附金、協賛金などにより事業を展開してきたが、事業計画に掲げた2020年の東京オリンピック・パラリンピック、2021年の日本郵便創業150周年を見据えた実効性のある対策は、まだ志半ばである。「郵趣再生」の2年度となる2016年度に向け、引き続き事業展開に全力を挙げて取り組んでいく。

公益目的事業

1. 普及啓発事業

万国郵便連合(UPU)加盟約190の国と地域から発行されている郵便切手類に関する意匠、歴史、データ並びに郵便制度の研究に関して質の高い情報を広く社会一般に積極的に提供し、郵便切手文化を未来に継承するため普及啓発を図った。

(1) 「全国ミニ切手展」キャンペーン

4月の「切手趣味週間」(切手趣味週間の切手発行日から1週間)に合わせて、全国の郵便局、学校、博物館など公共施設を中心として、「全国ミニ切手展」を629カ所(前年度852カ所)で開催した。

(2) 切手オリエンテーション

郵便切手文化を普及するため、誰でもが参加・交流できる「切手オリエンテーション」を開催する。実施テーマにあたっては、初心者の人でもわかりやすく、親しみのもてる内容等を選定し、文化活動の普及啓発に努めた。

①切手オリエンテーション「郵趣入門コース」

広く一般を対象にして、全6回のカリキュラムで「郵趣入門コース」を実施し、受講完了者には修了書を授与した。切手オリエンテーションは切手の博物館(豊島区)で開催し、最終回はスタンプショウ2016会場で実施した。

[第1回] 講座テーマ「切手など郵趣品の話」、開催日：6月13日(土)、参加者：5名。

[第2回] 講座テーマ「切手など郵趣品の集め方と整理の仕方」、開催日：9月19日(土)、参加者：3名。

[第3回] 講座テーマ「マイリーフ作成ガイド」、開催日：11月21日(土)、参加者：6名。

[第4回] 講座テーマ「マイリーフ作成実習」、開催日：2016年1月30日(土)、参加者：5名。

[第5回] 講座テーマ「アルバムリーフ作成」、開催日：2016年3月19日(土)、参加者：5名。

[第6回] 講座テーマ「アルバムリーフ展示」、開催日：2016年4月30日(土)、参加者：5名。

②こども切手オリエンテーション

幼児及び小学生児童を対象にして、郵便切手に関する基礎知識から実際に切手を見て触れてみる体験を通して、郵便切手への興味から趣味へ進める場として学んでもらった。こども切手オリエンテーションは、切手の博物館(豊島区)で開催した。

[第1回] 内容：切手の歴史と切手つかみ取り、開催日：5月16日(土)、参加者：6名。

[第2回] 内容：ゆうびんde自由研究の作品作りのヒント、アドバイス講座、開催日：6月13日(土)、参加者：4名。

[第3回] 内容：手紙を書いてみよう(1)、切手つかみ取り、切手宝探し、開催日：8月22日(土)、参加者：58名。

[第4回] 内容：手紙を書いてみよう(2)、切手つかみ取り、切手宝探し、開催日：12月12日(土)、参加者：3名。

(3) 郵趣入門ガイド

広く一般の人々を対象にした簡易版の郵趣入門ガイドとして、「郵趣スタートガイド」(B6判・8ページ)を作成し、スタンプショウ2015、中部スタンプショウ2015会場で無償配布するとともに、全国郵趣大会2015in静岡の参加者に普及事業活動の周知を行った。第2弾として「郵趣リーフ作成ガイド」を作成し、スタンプショウ2016会場での配布を始める。

(4) 郵趣図書の普及促進

郵便切手類の歴史及び郵便制度の研究に必要な図書を広く図書館に配備・リクエストすることにより、地域市民の誰でもが学習活動に平等な機会が得られることを実現し、教育と文化の普及・発展に寄与した。

①『切手画家・木村勝の遺した資料 戦後切手1946～1961』：45冊

(5) ホームページ及びソーシャル・ネットワークの活用

インターネットによる情報公開の重要性に鑑み、最新の切手発行情報、展覧会、出版物及び文化シンポジウムなどに関する情報をホームページにより適時掲載し、広く社会一般に公開、提供した。また、英語版ホームページを通して海外への情報発信にも努めた。さらに、公式フェイスブック「kitte」、公式ツイッター「kitte club」、LINEスタンプ等のソーシャル・ネットワーク(SNS)を活用して多様な情報を発信し、多数の人々が参加する双方向的なコミュニケーションを図った。

ホームページ総セッション数：1,048,635件(前年対比111%)、ツイッター総インプレッション数：34,468,424件、フェイスブック いいね！：2,433件(同160%)、ツイッター フォロワー：24,797名(同199%)、LINEスタンプ：132個。

(6) 全国郵趣大会2015in静岡(第33回)

全国各地における郵趣活動の結びつきを図り、郵趣に関する情報並びに課題の共有・活用の推進を図るため、全国郵趣大会を開催した。併せて、郵便切手文化の普及啓発並びに調査研究に貢献した功労者の顕彰、学術調査研究発表等の大会式典を実施するとともに、交流と親睦を深める記念レセプションを開催した。

会期：9月12日(土)～9月13日(日)、会場：静岡グランドホテル中島屋(静岡市)、参加者：150名(前年度97名)。内容：記念式典、テーブルバザール7店10テーブル(同11店15テーブル)、記念パーティ参加者：110名(同77名)。「講演会」①「私の郵趣遍歴」(講師：長田伊玖雄氏)、聴講者120名。②「富士山切手を集めてみませんか」(講師：鈴木瑞男氏)、聴講者120名。「セミナー」①「第2次国立公園切手の楽しみ方」(講師：大久保幸夫氏)、聴講者30名。②「小国のモダンには夢があるー小国リトアニアの現代郵趣ー」(講師：荒木寛隆氏)、聴講者30名。③「国際展出品に向けたシノプシスとリーフサイズについて」(講師：江村清氏)、聴講者30名。④「ツェッペリン・カバーの話」(講師：立川賢一氏)、聴講者30名。

後援：日本郵便(株)東海支社、静岡中央郵便局、静岡市教育委員会、徳川家康公顕彰四百年記念事業推進委員会、(公財)静岡観光コンベンション協会。

(7) 地方本部主催の「切手のつどい」

郵便切手文化に関する情報の発掘、収集を行うとともに、その結びつきを図り、国民の資源として共有・活用する基盤作りのため、誰でもが参加・交流できる「切手のつどい」を開催した。

①静岡県郵趣の集い2015in静岡

会期：6月21日(日)～6月22日(月)、会場：三保園ホテル(静岡市)、参加者：37名(前年度33名)。

主催：中部地方本部、静岡支部

②新潟県郵趣の集い2015in柏崎(第21回)

会期：6月28日(日)、会場：アトリウム長岡(新潟県長岡市)、参加者：36名(同26名)。主催：中部地方本部、柏崎支部

③岡山切手のつどい2015

会期：7月5日(日)、会場：岡山国際交流センター(岡山市)、参加者：50名(同60名)。主催：中国・四国地方本部、岡山支部

④筑後地方切手のつどい2015(第17回)

会期：7月26日(日)、会場：小郡市生涯学習センター「七夕ホール」(福岡県小郡市)、参加者：55名(同60名)。主催：九州・沖縄地方本部、小郡支部

⑤広島切手のフリーマーケット(第14回)

会期：10月25日(日)、会場：KKRホテル広島(広島市)、参加者：85名(同80名)。主催：中国・四国地方本部、広島鯉城支部

⑥北九州切手のつどい2016

会期：2016年2月14日(日)、会場：アジア太平洋インポートマート[AIM](福岡県北九州市)、参加者：60名(同70名)。主催：九州・沖縄地方本部、北九州支部

⑦広島切手のつどい2016

会期：2016年2月28日(日)、会場：KKRホテル広島(広島市)、参加者：140名(同110名)。主催：中国・四国地方本部、広島鯉城支部

2. 展覧会事業

郵便切手類及び郵便制度に関する研究を発展させるとともに、作品を鑑賞することにより豊かな情操を養い郵便切手文化に理解を深めるため、展覧会を開催した。郵便切手文化の独自性と希少性を確立することで、出品者及び参観者の高いモチベーションを維持し、文化シンポジウム・イベント等を実施企画することによりPR効果を高め、集客の増加を図った。また、積極的に企業・団体との協働プロジェクトを推進していき、企画プログラムの充実、より多様なニーズに応えた。

(1) 全国規模の展覧会

①スタンプショウ2015(第39回)

主要ターゲットを20代後半から50代前半の女性として、企画展示「切手デザイナーの世界展2015」、「チェコ・チェコ切手展」及び特別展示「山手線環状運転90周年記念 鉄道切手展」を開催した。

開催テーマ：「つながる想い つながる切手」、会期：4月24日(金)～4月26日(日)、会場：東京都立産業貿易センター台東館(台東区)、来場者：6,462名(前年度7,190名)、主催：(公財)日本郵趣協会、特別協賛：日本郵便(株)、協賛：(株)伊藤園、えにし書房(株)、カシオ計算機(株)、(株)鼓月、(株)東京洋紙店、(株)ながとも、(株)八丁幸、富士急行(株)、(株)不二家、協力：国立印刷局お札と切手の博物館、切手の博物館、郵政博物館、岩倉高等学校、昭和鉄道高等学校。

企画展示：「切手デザイナーの世界展2015」：(1)切手ができるまで(分色及び刷版)、(2)主要各国の現行切手、(3)36ミリ以下の小さな競演、「チェコ・チェコ切手展」：2作品8フレーム、第4回フリースタイル・ワンフレーム展：23作品(同28作品)、第16回トピカル切手展：38作品110フレーム(同40作品127フレーム)、外国郵政ブース：3カ国(チェコ、ロシア、アメリカ)、切手商ブース：31店41.5ブース(同32店43.5ブース)。

②スタンプショウ2016(第40回)[準備作業]

企画展示「絶技!凹版切手展」、「南極観測60年記念切手展」及び企画イベントの実施計画について運営準備を進めるとともに、協力いただける企業・団体の協賛を募った。

開催テーマ：「切手で結ぶ 世界の仲間!」、会期：2016年4月29日(金・祝)～5月1日(日)、会場：東京都立産業貿易センター台東館(台東区)、主催：(公財)日本郵趣協会、後援：国立極地研究所、南極OB会、NPO法人白瀬南極探検100周年記念会、白瀬南極探検隊記念館、特別協賛：日本郵便(株)、協賛：(株)伊藤園、カシオ計算機(株)、(株)鼓月、(株)東京洋紙店、(株)ながとも、富士急行(株)、(株)不二家、協力：国立印刷局お札と切手の博物館、切手の博物館、郵政博物館、(公

財)日本宇宙少年団、わちふいーるどライセンスング(株)。

③第50回全国切手展(略称:JAPEX2015)

郵便切手類と郵便制度の研究成果を発表するコンクール形式の展覧会として、企画出品「年賀郵便展」、「ペニーブラック発行175周年 イギリス切手展」、「JAPEX50年の歩み」、チャンピオン・クラス、伝統郵趣、郵便史、ステーションナリー、航空郵趣、テーマティク、ユース、文献、ワンフレーム、オープン、その他の全11クラスの競争作品を公募した。併せて、公式ガイドブック、コレクション集CD及び記念出版物を発行して、研究発表の成果を広く一般に公開した。

開催テーマ:「切手と歩んで50年 未来へつなごう郵便文化」、会期:10月30日(金)~11月1日(日)、会場:東京都立産業貿易センター台東館(台東区)、入場者4,800名(前年度4,700名)、主催:(公財)日本郵趣協会、後援:外務省、駐日英国大使館、在日英国商業会議所、(一社)日英協会、(公財)通信文化協会、特別協賛:日本郵便(株)、協賛:(株)伊藤園、えにし書房(株)、カシオ計算機(株)、(株)鼓月、(株)東京洋紙店、(株)ながとも、(株)日本郵趣出版、富士急行(株)。

企画出品:「年賀郵便展」15作品67フレーム、「ペニーブラック発行175周年 イギリス切手展」4作品30フレーム、「JAPEX50年の歩み」(パネル及びショーケース)、競争出品:130作品434フレーム(同132作品396フレーム)、外国郵政ブース:7カ国(イギリス、アメリカ、オランダ、スロベニア、フェロー諸島、オランダ、フィンランド)、切手商ブース:35店45ブース(同32店41ブース)。

④第51回全国切手展(略称:JAPEX2016) [準備作業]

1946年に設立された日本郵趣協会は、2016年に創立70周年を祝う記念の年を迎える。これを記念して、郵便切手類及び郵便制度に関する研究をさらに発展させていくため、企画出品「郷土の郵便印展」、「新動植物国宝切手50年」、「南米切手展」及び記念イベントの実施計画について運営準備を進めた。

開催テーマ:「JAPEXは次の50年へ 未来へつなごう郵便切手文化」、会期:2016年11月4日(金)~11月6日(日)、会場:東京都立産業貿易センター台東館(台東区)、共催:(公財)通信文化協会[予定]、後援:外務省、協賛:日本郵便(株) (株)伊藤園、カシオ計算機(株)、(株)鼓月、(株)東京洋紙店、(株)ながとも、(株)日本郵趣出版、富士急行(株) [以上予定]。

(2) 地方本部主催の展覧会

①スタンプショウ高松2015(第6回)

会期:4月25日(土)~4月26日(日)、会場:アイパル香川(香川県高松市)、来場者:100名(前年度120名)、主催:中国・四国地方本部、高松支部。企画イベント:郵趣相談コーナー、紙付き切手の山崩し。

②第6回楽しい切手展in横浜

会期:5月24日(日)、会場:かながわ県民センター(横浜市)、来場者:205名(同405名)、主催:関東地方本部、横浜支部、湘南郵趣の会、相模原支部、後援:日本郵便(株)南関東支社、神奈川新聞社。企画イベント:体験ワークショップ「切手はり絵」、さくら日本切手カタログ(旧版)及び使用済切手のプレゼント。

③スタンプショウくだまつ2015

会期:6月13日(土)~6月14日(日)、会場:スターピアくだまつ(山口県下松市)、来場者:193名(同260名)、主催:中国・四国地方本部、周南支部、後援:日本郵便(株)中国支社、みなと山口合同新聞社、企画イベント:日本・外国切手袋詰めセットプレゼント。

④スタンプショウ=ヒロシマ2015(第32回)

会期:6月27日(土)~6月28日(日)、会場:広島県立産業会館(広島市)、来場者:500名(同800

名)、主催：中国・四国地方本部、スタンプショウ=ヒロシマ2015組織委員会、後援：広島市、広島市教育委員会、日本郵便(株)中国支社、NHK広島放送局、中国放送、広島テレビ、広島ホームテレビ、テレビ新広島、広島エフエム放送、中国新聞社。企画イベント：切手女子コーナー、切手何でも相談室、鑑定コーナー、切手教室、紙付き切手の無料提供。

⑤大阪切手まつり2015(第17回)

会期：7月20日(月・祝)、会場：味覚糖UHA館(大阪市)、来場者：630名(同480名)、主催：関西地方本部。

⑥中部スタンプショウ2015 in静岡(第14回)

会期：9月12日(土)～9月13日(日)、会場：静岡グランドホテル中島屋(静岡市)、来場者：200名(同280名)、主催：中部地方本部、静岡支部、後援：日本郵便(株)静岡中央郵便局、静岡市教育委員会、徳川家康公顕彰四百年記念事業推進委員会、(公財)静岡観光コンベンション協会。

企画展示：世界文化遺産登録「富士山」、静岡初期の郵便印、企画イベント：「スタンプクラブ」プレゼント、リターンメール受付。

⑦彩PEX2015(第16回)

会期：9月18日(金)～9月27日(日)、会場：アートギャラリー呼友館(埼玉県川越市)、来場者：640名(同640名)、主催：関東地方本部、川越支部、後援：日本郵便(株)川越郵便局、川越市教育委員会、埼玉県郵趣連合。

⑧スタンプショウふくやま2015(第36回)

会期：9月26日(土)～9月27日(日)、会場：まなびの館ローズコム(広島県福山市)、来場者：100名(同100名)、主催：中国・四国地方本部、福山支部、後援：日本郵便(株)中国支社、中国新聞社。企画イベント：切手収集相談、無料鑑定。

⑨スタンプショウかごしま2015(第18回)

会期：10月3日(土)～10月4日(日)、会場：KKR鹿児島敬天閣(鹿児島市)、来場者：250名(同200名)、主催：九州・沖縄地方本部、鹿児島支部、後援：日本郵便(株)九州支社、南日本新聞社、NHK鹿児島放送局、MBC南日本放送、KKB鹿児島放送、KYT鹿児島読売TV、エフエム鹿児島、鹿児島シティエフエム。企画イベント：切手鑑定会、収集相談、紙付き使用済切手無料つかみ取り。

⑩大阪秋の切手展2015(第3回)

会期：10月10日(土)～10月11日(日)、会場：京セラドーム大阪「スカイホール」(大阪市)、来場者：520名(同630名)、主催：関西地方本部、後援：日本郵便(株)近畿支社。

⑪スタンプショウはかた2015(第26回)

会期：10月17日(土)～10月18日(日)、会場：TKPカンファレンスシティ博多(福岡市)、来場者：200名(同300名)、主催：九州・沖縄地方本部、福岡支部、スタンプショウはかた2015実行委員会、後援：日本郵便(株)九州支社、福岡市教育委員会、NHK福岡放送局、RKB毎日放送、九州朝日放送、FBS福岡放送局、TVQ九州放送、テレビ西日本、読売新聞社、朝日新聞社、西日本新聞社、毎日新聞社。

⑫スタンプショウこうち2015(第20回)

会期：10月24日(土)～10月25日(日)、会場：イオンモール高知専門店街「イオンモール」(高知市)、来場者：550名(同800名)、主催：中国・四国地方本部、スタンプショウこうち2015実行委員会、後援：日本郵便(株)高知中央郵便局、NHK高知放送局、RKC高知放送、高知新聞社、KUTVテレビ高知、KSSさんさんテレビ。企画イベント：切手のフリーマーケット、切手で遊ぼう！楽しい親子の切手工作教室。

⑬関西スタンプショウ2016(第29回)

会期：2016年3月12日(土)～3月13日(日)、会場：大阪マーチャンダイズ・マートビル[OMMビル]
(大阪市)、来場者：700名(同750名)、主催：関西地方本部、後援：日本郵便(株)近畿支社、関西
郵趣連盟。企画イベント：日本切手カタログプレゼント。

(3) 展覧会への出品促進

競争作品を公募するコンクール形式の展覧会への出品を促進するため、出品公募前に出品物の添削・助言等を行い、審査結果発表後には出品者への助言の機会を設けた。

①JAPEX2015ルールブック(JAPEX2015開催概要、JAPEX2015特別規則、JAPEX一般規則、JAPEX
審査基準、JAPEX出品に関するQ&A等)を作成し、出品希望者への配布及びホームページにおい
て公開した。

②新規出品者の育成及び出品コンサルティングの実施

当協会事務局での対面及び通信添削において、作品コンサルティングを実施した。JAPEX新規出
品者：10名(前年度14名)、出品コンサルティング利用者：9名(同16名)。

③審査員と出品者との対話(ジュリー・アプレイザル)の実施

実施日：11月1日(日)、会場：第50回全国切手展JAPEX2015[東京都立産業貿易センター台東館
(台東区)]、参加者：29名(同30名)。

(4) 展示備品の貸出

郵便切手文化の振興を図るため、当協会が所有する展示フレーム及び展示什器について、外部への
貸出を行った。

展覧会名称：全日本切手展2015、会期：8月1日(金)～8月3日(日)、会場：すみだ産業会館(墨田
区)、主催：(公財)通信文化協会、日本郵趣連合、全日本切手展2015実行委員会

貸出展示備品：展示フレーム130台(260フレーム)

(5) 公認審査員制度と審査員の育成

コンクール形式の展覧会において適正な判定と円滑な運営を行うため、公認審査員制度を設け、第
50回全国切手展JAPEX2015[東京都立産業貿易センター台東館(台東区)]において副審査員1名の
実技研修を行い国内審査員の育成を図った。また、9月26日(土)に国際切手展<SINGAPORE2015>出
品作品に関する郵趣セミナーを開催し、有資格者の審査技術の向上と平準化を図った。

3. 出版事業

郵便切手類及び郵便制度に関する情報を社会一般に広く供するため、万国郵便連合(UPU)加盟約
190の国と地域から発行されている郵便切手類に関する内容、意匠、データ並びに郵便制度に関する
研究を基にして、各種出版物を発行した。

(1) 郵趣書籍及び研究報告書

①郵趣モノグラフ23『日本切手の凹版彫刻者たち～切手とお札を彫った人々～』(5月25日刊行)

※(一財)印刷俣陽会の助成事業として実施。

②『第50回全国切手展JAPEX2015コレクション集CD』(12月25日刊行)

③郵趣モノグラフ24『尾道の郵便～創業から終戦まで～』(2016年2月15日刊行)

④郵趣モノグラフ25『南方占領地の切手と郵便』(2016年2月25日刊行)

⑤JAPEX2015記念出版『年賀郵便-年賀状と切手の歴史-』(2016年3月25日刊行)

(2) 定期刊行物

①切手を楽しむ雑誌『郵趣(YUSHU)』月刊/12回発行

- ②情報速報紙『郵趣ウィークリー』週刊／50回発行
- ③郵趣専門誌『郵趣研究 (The Philatelic Studies)』隔月刊／6回発行
- ④インターネット版『世界新切手ニュース』月刊／12回配信
- ⑤インターネット版『郵趣ウィークリー』週刊／50回配信

(3) 切手カタログ

- ①『さくら日本切手カタログ2016』(4月20日刊行)
- ②『テーマ別 日本切手カタログVol.1 花切手編』(9月25日刊行)
- ③『ビジュアル日本切手カタログVol.4 普通切手編』(10月25日刊行)
- ④『新中国切手カタログ2016』(12月25日刊行)
- ⑤『日本普通切手専門カタログ・戦前編』(日本郵趣協会70周年記念出版、刊行準備作業)

4. 学術調査研究事業

郵便切手類及び郵便制度に関する情報(データベース)などを基に学術調査研究を行い、その研究成果を広く社会一般に還元するため、文化シンポジウム、活動事例紹介、研究発表会等を開催し、知的情報の公開・周知を図った。

(1) 部会・例会

全国規模の専門分野の学術調査研究組織である部会、地域規模の組織として研究情報交換を行う例会の計22グループが延べ220回の会合を開催した。参加者：延べ1,541名(前年度1,687名)。

(2) 文化シンポジウム

講演会、パネルディスカッション、トークショー等の形式により文化シンポジウムを開催し、知見の交換を図るとともに多くの人に参加できる機会を創出した。

①会期：4月24日(金)～4月26日(日)、会場：スタンプショウ2015[東京都立産業貿易センター台東館(台東区)]。

- A. トークショー「新普通切手のデザイン」(ゲスト：貝淵純子氏[切手デザイナー])、聴講者95名。
- B. トークショー「切手デザインの魅力」(ゲスト：玉木明氏[切手デザイナー])、聴講者68名。
- C. 講演会「郵政博物館に出かけてみませんか?」(講師：井上卓朗氏)、聴講者17名。
- D. 講演会「切手が伝える花卉園芸の世界史」(講師：嘉ノ海暁子氏)、聴講者28名。
- E. 講演会「切手+風景印をコツコツ追いかけて」(講師：古沢保氏)、聴講者95名。
- F. 講演会「日の本切手美女かるた」(講師：内藤陽介氏)、聴講者19名。
- G. 実践講座「パソコンで作るアルバム作り」(講師：江村清氏)、聴講者33名。
- H. トークショー&ワークショップ「切手女子のための切手の楽しみ方」(ゲスト：はばちえ氏[切手女子ライター]、板橋祐己氏)、聴講者68名。

②会期：10月30日(金)～11月1日(日)、会場：第50回全国切手展JAPEX2015[東京都立産業貿易センター台東館(台東区)]。

- A. トークショー「JAPEX 50年の歩み」(ゲスト：魚木五夫氏)、聴講者66名。
- B. 講演会「アウシュヴィッツの手紙」(講師：内藤陽介氏)、聴講者29名。
- C. 講演会「565円から1,500,000円まで「EKB47」&「ななつ星」の旅」(講師：櫻井寛氏)、聴講者44名。
- D. 講演会「初のテーマ別日本切手カタログ「花切手編」刊行に寄せて」(講師：奥田重俊氏)、聴講者38名。
- E. 講演会「浮世絵と風景印から見えてくる物語」(講師：古沢保氏)、聴講者62名。
- F. 講演会「百花繚乱に咲き誇った、世紀末以降の人気「モダニズム絵画切手」を紹介！」(講師：江村

清氏)、聴講者17名。

G. 講演会「ペニー・ブラックの物語」(講師:内藤陽介氏)、聴講者47名。

(3) 専門分野の活動事例紹介

誰でもが参加できるブース形式またはディスカッション形式により、全国規模の展覧会において部会・例会等の学術調査研究グループにおける活動事例を紹介した。

①4月24日(金)～4月26日(日)、東京都立産業貿易センター・台東館(台東区)で開催した、スタンブショウ2015会場において、13の部会及び例会組織がブースを開設し、日常の専門分野の活動事例を紹介した。

②10月30日(金)～11月1日(日)、東京都立産業貿易センター・台東館(台東区)で開催した、第50回全国切手展JAPEX2015会場において、17の部会及び例会組織がブースを開設し、日常の専門分野の活動事例を紹介した。

(4) 専門分野の研究発表会

展覧会形式により、切手の博物館(豊島区)において各専門分野の学術調査研究成果を<ミニペックス>と称して広く一般に発表・公開した。

①イギリス切手発行175周年記念 2015イギリス切手部会展

会期:4月18日(土)～4月19日(日)、来場者:360名(前年度370名)、研究発表:イギリス切手部会

②第13回絵画切手部会展

会期:5月9日(土)～5月10日(日)、来場者:200名(同230名)、研究発表:絵画切手部会

③楽しいメータースタンプ展2015

会期:6月5日(金)～6月7日(日)、来場者:250名、研究発表:メータースタンプ部会

④第30回記念 昆虫切手展

会期:6月13日(土)～6月14日(日)、来場者:270名(同210名)、研究発表:昆虫切手部会

⑤日韓国交正常化50周年記念 コーリア切手部会展2015

会期:6月26日(金)～6月28日(日)、来場者:320名、研究発表:コーリア切手部会

⑥「自由の鐘ミステリー」ーアメリカ切手展2015 america'15ー

会期:7月8日(水)～7月12日(日)、来場者:360名(同250名)、研究発表:アメリカ切手部会

⑦JPS航空部会展2015・空飛ぶ郵活

会期:9月25日(金)～9月27日(日)、来場者:320名(同320名)、研究発表:航空部会

⑧ペンシルロケット60周年記念★2015宇宙切手部会展

会期:10月16日(金)～10月18日(日)、来場者:380名、研究発表:宇宙切手部会

⑨北欧切手展 NORDEX2015

会期:10月24日(土)～10月25日(日)、来場者:220名、研究発表:北欧切手部会、後援:デンマーク大使館、駐日ノルウェー王国大使館、スウェーデン大使館

⑩第6回世界の植物切手展

会期:11月5日(木)～11月8日(日)、来場者:240名(同270名)、研究発表:植物切手部会

⑪チャイコフスキー生誕175年 記念音楽切手展

会期:11月21日(土)～11月22日(日)、来場者:330名(同350名)、研究発表:音楽切手部会

⑫第11回中国郵票展

会期:2016年1月23日(土)～1月24日(日)、来場者:210名(同160名)、研究発表:福井和雄理事長

⑬パソコン郵趣部会展2016

会期：2016年2月19日(金)～2月20日(土)、来場者：200名(同350名)、研究発表：パソコン郵趣部会

⑭第8回聴覚障害者切手クラブ切手展

会期：2016年3月11日(金)～3月13日(日)、来場者：220名(同200名)、研究発表：聴覚障害者切手クラブ

⑮菊・田沢MINIPEX2016

会期：2016年3月18日(金)～3月20日(日)、来場者：240名(同200名)、研究発表：菊・田沢切手部会

⑯第17回ドイツ切手展 GERMANIA2016「戦後のドイツを見る1945-2016」

会期：2016年3月25日(金)～3月27日(日)、来場者：350名、研究発表：ドイツ切手部会

(5) 展覧会助成

郵趣分野における研究の発展並びに普及啓発の観点から、社会的要請及び学術的に質の高い研究成果の発表・公開に対して、展覧会助成を実施した。

①第1回郵便制度史展

会期：4月10日(金)～4月12日(日)、来場者：140名、主催：郵便制度史展実行委員会

②第11回変わり種切手展

会期：5月1日(金)～5月3日(日)、来場者：270名(同200名)、主催：変わり種郵趣グループ

③第13回天野安治・魚木五夫郵趣展

会期：5月5日(火・祝)～5月7日(木)、来場者：150名(同160名)、主催：天野安治氏、魚木五夫氏

④なでしこ切手倶楽部展2015ーかわいい！キレイ！新しい郵趣の楽しみ方ー

会期：5月29日(金)～5月31日(日)、来場者：470名、主催：なでしこ切手倶楽部

⑤東大OBによる切手を楽しむ切手展／第1回満月印切手展

会期：6月19日(金)～6月21日(日)、来場者：250名、主催：東京大学切手研究会、郵便印研究会

⑥第3回ヨーロッパ切手展ーバルト三国再独立25周年ー

会期：10月9日(金)～10月10日(土)、来場者：200名(同190名)、主催：ヨーロッパ切手展実行委員会

⑦第12回震災切手と震災郵趣展

会期：10月13日(火)～10月15日(木)、来場者：90名(同130名)、主催：震災切手研究会

⑧第7回テーマティック出品者の会切手展

会期：2016年1月17日(日)～1月20日(水)、来場者：180名(同240名)、主催：テーマティック出品者の会

⑨第7回世界の郵趣展

会期：2016年3月6日(日)～3月9日(水)、来場者：100名(同170名)、主催：クラシックフィラテリー研究会

(6) 先進学術事例の調査研究と研究発表

各専門分野の先進学術事例の調査研究を行うとともに、この知見を相互に有効活用するため、郵趣専門誌『郵趣研究』において、「手彫切手ー版別と“西京穴”の話」、「欧文機械印/最近の研究」、「新発見・南方占領地北ボルネオ タワォ和文印と為替記号入り印」等を発表し、広く一般に公開した。

5. 国際文化交流事業

日本と海外諸国・地域との文化活動の交流を図り、友好関係と相互理解を増進するため、自国の歴史・文化を伝える「小さな外交官」と形容される郵便切手類を通して、国際文化交流を推進した。

(1) 国際切手展における国際文化交流

①第30回アジア国際切手展<TAIPEI2015>への出品・視察

4月24日(金)～4月28日(火)、台北世界貿易センター(台湾・台北)で開催されたアジア国際切手展<TAIPEI2015>を視察し、国際委員会及び審査委員会の合同委員会において報告会を開催して意見交換を行うとともに、「郵趣研究」にレポートを掲載した。また「ビジュアル日本切手カタログ vol.1,vol.2,vol.3」を出品し、金銀賞を受賞した。

②国際切手展<SINGAPORE 2015>への出品・視察

8月14日(金)～8月19日(水)、マリーナベイ・サンズ(シンガポール)で開催された国際切手展<SINGAPORE2015>視察に1名を派遣した。視察成果は、国際委員会及び審査委員会の合同委員会において報告され意見交換を行うとともに、「郵趣研究」にレポートを掲載した。また「ビジュアル日本切手カタログ vol.1,vol.2,vol.3」を出品し金銀賞、「戦前戦後の記念切手」を出品し大銀賞を受賞した。

③第31回アジア国際切手展<HONGKONG2015>の視察

会期：11月20日(金)～11月23日(月)、会場：香港コンベンション&エキビジョン・センター(中国・香港)で開催されたアジア国際切手展<HONGKONG2015>を視察し、「郵趣研究」にレポートを掲載した。

(2) 各国郵政機関及び海外郵政組織との協働による国際文化交流

日本国としての参加が求められている国際切手展に日本郵政機関と協働してブース出展を行うとともに、海外郵政機関と協働して質の高い国際文化交流の活性化に努めた。

①グリーティング切手「ムーミン」発行イベント

5月1日(金)、JPタワー・KITTEで開催された日本郵便(株)主催の「グリーティング切手「ムーミン」発行イベント」において、フィンランド郵政及びフィンランド大使館商務部と協働してムーミン切手の展示、展示解説及び記念押印サービスを実施した。

②国際切手展<SINGAPORE 2015>へのブース出展

8月14日(金)～8月19日(水)、マリーナベイ・サンズ(シンガポール)で開催された国際切手展<SINGAPORE2015>でJAPAN POST(日本郵便)ブースの出展・運営を行い、記念押印サービス等を実施した。

③「ペニーブラック発行175周年 イギリス切手展」(Penny Black 175th Anniversary 「Great Britain Satmp Exhibition」)

10月30日(金)～11月1日(日)、東京都立産業貿易センター台東館(台東区)で開催された第50回全国切手展JAPEX2015の企画出品として、イギリスと日本の友好を深めるために、外務省、駐日英国大使館、在日英国商業会議所、(一社)日英協会の後援により「ペニーブラック発行175周年 イギリス切手展」を開催するとともに、作品解説を実施した。

6. 流通促進事業

文化的及び歴史的資料として貴重な国民的財産である郵便切手類を拡散・劣化させることなく、次世代へ着実に継承するため、流通促進事業を実施した。

(1) 流通促進の基盤整備

郵便切手類の偽造品・変造品の不正流通を防止し、郵便事業に対する信認を確保するため、偽造品・変造品に関する情報をデータベースとして蓄積するとともに、郵便切手文化の保全と健全なる市場の形成を図り、広く利用者の便宜性と拡大に努めた。

(2) 公開入札制度<JPSオークション>

公正かつ厳格なマネジメントによる公開入札制度を通して、郵便切手文化を広く一般社会に敷衍するとともに、郵便切手類への不当な投機的流通を防止し、郵便切手類の価値の公正化を図った。

①第498回 開催日：4月25日(土)、会場：東京都立産業貿易センター台東館(台東区)

②第499回 開催日：7月4日(土)、会場：切手の博物館(豊島区)

③第500回Part.1 開催日：9月5日(土)、会場：切手の博物館(豊島区)

④第500回Part.2 開催日：10月31日(土)、会場：東京都立産業貿易センター台東館(台東区)

⑤第501回 開催日：2016年1月16日(土)、会場：切手の博物館(豊島区)

⑥第502回(メール) 締切日：2016年3月15日(火)

出品総数:7,815ロット(前年度7,344ロット)、落札総高:100,099千円(同104,951千円)。

7. 顕彰事業

日本及び世界各国の郵便切手類及び郵便制度に関して、その普及啓発並びに調査研究に貢献した功労者(個人及び団体)を顕彰し、郵便切手文化の振興と水準高度化を図った。

(1) 選考委員会

各授賞要項に基づき各選考委員会を設置するとともに、選考基準に基づき授賞者を選考した。

①第36回中島健蔵・水原明窗記念賞

中島健蔵・水原明窗記念賞選考委員会(委員長：福井和雄、委員：魚木五夫、大沼幸雄、落合宙一、桑野博、下邑政弥、松本純一)を設置し、4月24日(金)に選考委員会を開催し、受賞者に長田伊玖雄氏を決定した。

②国際大賞(トレーシー・ウッドワード記念賞)

顕彰選考委員会(委員長：福井和雄、委員：浅見啓明、落合宙一、桑野博、玉木淳一)を設置し、6月20日(土)に選考委員会を開催し、該当者なしと決定した。

③第35回郵趣活動賞(個人部門、団体部門)

同上の選考委員会を設置し、次のように決定した。

A. 個人部門：江村清氏、大野勝弘氏、大森洋一氏の3名

B. 団体部門：宇都宮支部、城陽支部の2団体

④第35回郵趣文献賞

同上の選考委員会を設置し、受賞文献に次の2文献を決定した。

「第1次国立公園の体系的収集」(神宝浩著)

「金井宏之コレクション「日本手彫切手」全3巻」[(一財)切手文化博物館]

⑤第32回小倉謙賞

第50回全国切手展JAPEX2015審査委員会の審査員で選考委員会(委員長：竹上幸浩)を設置し、10月31日(土)に選考委員会を開催し、受賞者に平林敏彦氏「19世紀イタリアの偉大なオペラ作家ジュゼッペ・ヴェルディ足跡とその時代」を決定した。

⑥第30回住野正顕賞

第50回全国切手展JAPEX2015審査委員会の審査員で選考委員会(委員長：竹上幸浩)を設置し、10

月31日(土)に選考委員会を開催し、受賞者に有吉伸人氏「Napoleon non laure FRANCE 1852-1862」を決定した。

(2) 授賞式

表彰は授賞式をもって行うとともに、選考結果は『郵趣』及びホームページにおいて公開した。

①第36回中島健蔵・水原明窗記念賞

9月12日(土)、全国郵趣大会2015in静岡の式典において記念講演会「私の郵趣遍歴」を公開で実施した。聴講者120名。

②第35回郵趣活動賞(個人部門、団体部門)、第35回郵趣文献賞

9月12日(土)、全国郵趣大会2015in静岡において受賞者を発表するとともに、第35回郵趣活動賞(個人部門、団体部門)及び第35回郵趣文献賞の授賞式を公開で実施した。

③第32回小倉謙賞及び第30回住野正顕賞

11月1日(日)、第50回全国切手展JAPEX2015の表彰式において受賞者を発表するとともに、第32回小倉謙賞及び第30回住野正顕賞の授賞式を公開で実施した。

8. 社会貢献・地域支援事業

郵便切手文化の発展向上に資するとともに潤いのある社会形成を推進するため、パートナー企業・団体との協働により広く社会一般に貢献する事業を行った。また、地域市民が行う郵便切手文化の公益的活動への助成や情報・ネットワーク支援を図るとともに、文化活動を担うボランティアの醸成と創造性豊かな人材育成に取り組んだ。

(1)「手紙を書こう!プロジェクト2015」

あらゆる世代において郵便切手文化に触れ合う機会を創出し、手紙コミュニケーションの楽しさを体験してもらうとともに、生き生きとした心豊かな社会の実現を目指していくため、日本郵便(株)をはじめとしたサポート企業・団体の協賛を得て実施した。

①体験ワークショップ「手紙を書いてみよう」

A. 会期：4月24日(金)～4月26日(日)、会場：東京都立産業貿易センター台東館(台東区)

B. 会期：8月19日(水)～8月23日(日)、会場：切手の博物館(豊島区)

延べ参加者：約400名。

②Otegamiフリマ

A. 会期：5月23日(土)、会場：切手の博物館(豊島区)、来場者：約300名。

B. 会期：11月28日(土)、会場：切手の博物館(豊島区)、来場者：約400名。

共催：(一財)切手の博物館、協賛：日本郵便(株)

③ゆうびんde自由研究・作品コンテスト2015(第4回)

会期：8月19日(水)～8月23日(日)、会場：切手の博物館(豊島区)、主催：(公財)日本郵趣協会、後援：文部科学省、豊島区教育委員会、(公社)日本PTA全国協議会、読売KODOMO新聞、協賛：日本郵便(株)、カシオ計算機(株)、ポスタルスクウェア(株)、(株)不二家、(株)ジャパンビバレッジ東京、(株)デサント、富士急行(株)。

応募数：切手部門：38作品(前年度40作品)、風景印部門：90作品(同173作品)。表彰式は8月23日(日)に切手の博物館(豊島区)において実施するとともに、優れた作品にグランプリ及び特別賞(5協賛企業・団体)を授与した。

※本事業は、日本郵便(株)の年賀寄附金配分事業として実施した。

④タイムカプセル郵便（未来への手紙）

募集期間：4月1日（水）～2016年3月31日（木）[通年]、引受通数：1,481通（前年度498通）、協賛：日本郵便（株）、カシオ計算機（株）

⑤プチ・レトル（愛の国際郵便）

募集期間：4月1日（水）～2016年3月31日（木）[通年]、引受通数：71通（同181通）、協賛：日本郵便（株）、カシオ計算機（株）、協力：フランス郵政、セント・ヴァレンタイン郵便局、切手の博物館

⑥贈って楽しい、もらって嬉しい 風景印・記念印

A. 会期：4月24日（金）～4月26日（日）、会場：東京都立産業貿易センター台東館

B. 会期：8月19日（水）～8月23日（日）、会場：切手の博物館

C. 会期：10月30日（金）～11月1日（日）、会場：東京都立産業貿易センター台東館（台東区）

利用者：約1,500名。

(2) 登録支部・団体制度と地域文化活動の支援

郵便切手文化の普及の担い手である市民文化活動の振興を図るため、登録支部・団体との連携を強め、各地域における自主的活動や特性を発揮しながら、効果的な事業が推進できるように支援した。

登録支部・団体：98（前年度100）

①地域が取り組む展覧会及び切手教室への助成

登録支部・団体が開催した延べ28回の展覧会及び3回の切手教室への助成を行った。

②郵便切手文化活動への広報協力

『郵趣(YUSHU)』及び協会ホームページにおいて、各地域のイベントを紹介した。

③地域文化活動の活性化及び企画プログラムの提供

地域の郵趣活動を活性化させるため、企画プログラムの提供、講師の紹介などの支援を行った。

(3) パートナー企業・団体との協働プロジェクト

企業・団体と当協会が互いの特性や持てる資源を活かし合って、その取り組む課題やプロセスを共有し、協働して郵便切手文化に関する新たなニーズに応えた。

①日本郵便（株）主催の「手紙の書き方体験授業」の参加記念品として、使用済外国切手を提供した。

②分冊百科『世界の切手コレクション』（アシェット・コレクションズ・ジャパン（株）発行）の監修及び切手等の図版提供を行った。

③「メッセージフェスタ in KITTE」への参画

A. 日本郵便（株）主催の「メッセージフェスタ2015 in KITTE」[会期：9月18日（金）～9月21日（月・休）、会場：JPタワー・KITTE]にブース出展し、プチ・レトル（愛の国際郵便）の周知と、フランスポスト・チェコポスト・フィンランドポストによる共同ブースの運営を行った。

B. 日本郵便（株）主催の「春のメッセージフェスタ in THANKS KITTE」[会期：2016年3月19日（土）～3月21日（月・祝）、会場：JPタワー・KITTE]にブース出展し、チェコポスト・フィンランドポストによる共同ブースの運営を行った。

④青少年ペンフレンドクラブ(PFC)との連携

日本郵便（株）発行の「Letter Park」紙面を利用して、展覧会等の開催周知の連携を図った。

(4) ボランティアの醸成

郵便切手文化に関する理解と関心を高めるとともにボランティア活動への市民参加の促進を図るため、体験・情報提供を行い、支え合いの輪を広げる仕組み作りを推進した。

①押印ボランティア（認定制度）

展覧会イベントの臨時郵便局押印スタッフ育成のため、関東地区の登録支部・団体に呼び掛けて押印ボランティアの募集を図るとともに、押印研修会を開催して指導を行った。ボランティア登録者：13名。

②展覧会運営ボランティア

当協会の公式ホームページをはじめ、ボランティア募集を掲載するWEBサイト3社に登録して体験・情報提供を行い、支え合いの輪を広げる仕組み作りを推進した。

A. 4月24日(金)～4月26日(日)開催のスタンプショウ2015に一般ボランティア17名の応募があり、延べ31名が運営ボランティアとして参加した。

B. 10月30日(金)～11月1日(日)開催の第50回全国切手展JAPEX2015に一般ボランティア15名の応募があり、延べ22名が運営ボランティアとして参加した。

(5) 公益活動への支援

①切手の博物館主催の「切手バザール」(会期：4月4日～4月5日、5月16日～5月17日、7月4日～7月5日、8月29日～8月30日、10月3日～4日、11月14日～15日、2016年1月9日～10日、2月27日～28日、延べ8回)の開催を支援した。

②目白ロードレース実行委員会主催の第19回目白ロードレース(会期：2016年3月6日、会場：学習院キャンパス周辺)の開催に協賛した。

9. 公益事業資金の造成

郵便切手文化の向上発展に資するとともに未来に継承する公益事業資金造成のため、協力していただける企業・団体の募集、多くの方々に気軽にご支援いただけるよう、さまざまな形で寄付を募った。この益金は、広く社会一般に還元する事業のために充当した。

(1) サポート・パートナー企業・団体の募集

スタンプショウ2015に対して15企業・団体(前年度10企業・団体)、ゆうびんde自由研究・作品コンテスト2015に対して7企業・団体(同7企業・団体)、第50回全国切手展JAPEX2015に対して9企業・団体(同9企業・団体)から協賛、協力の支援を得た。

(2) 使用済み切手、書き損じはがきの募集

募集期間：2015年4月1日(水)～2016年3月31日(木)、協賛件数：2,046件(同1,030件)。

(3) 財政安定化寄附金(一般寄附金)

募集期間：2015年4月1日(水)～2016年3月31日(木)、協賛者：3名、11,230円(同10名、70,205円)。

(4) スタンプショウ2015寄附金(特別寄附金)

募集期間：1月6日(火)～4月26日(日)、特別寄附金：18口(1口3万円)、一般寄附金：347口(1口4,000円)、協賛者：322名、1,928千円(同247名、1,632千円)。

(5) JAPEX2015寄附金(特別寄附金)

募集期間：7月1日(水)～11月1日(日)、特別寄附金：37口(1口3万円)、一般寄附金：626口(1口4,000円)、協賛者：591名、3,617千円(同592名、3,709千円)。

Ⅱ 管理部門

1. 会員事業

(1) 会員情報管理システムの整備

会員情報を組織的に適正に管理してデータの円滑な利活用を行うため、会員情報管理システムを見直し、整備するとともに、事務の簡素化・効率化及び情報提供サービスの高度化を推進した。

(2) 会員の維持・拡大

①『郵趣』お試し購読キャンペーン

『郵趣』7月号のお試し購読キャンペーンを4月24日(金)～4月26日(日)にスタンプショウ2015会場において実施した。お試し購読者：9名(前年度はお試し入会者33名)、入会者：0名(同1名)。

②移籍のお願いキャンペーン(普通会員から正会員、維持会員へ、正会員から維持会員への移籍)、維持促進及び再入会ダイレクトメール、会費自動引き落としの利用拡大の呼びかけを実施した。普通会員から正会員への移籍者：10名(前年度7名)、正会員から維持会員への移籍者：2名(同3名)。

③会員増強対策

A. 会員増強協議会の発足

理事、地方本部長及び全国の熱心な郵趣活動家により会員増強協議会を組織し、新規会員獲得の活動を行った。新入会者：11名。

B. 終身維持会員の募集

会員規程を改正して入会条件を改め、終身維持会員の募集を行った。入会者：16名。

C. WEB会員の開設

若年層や女性など、郵趣初心者にとって割安な会費を設定して、WEBを通して郵趣情報を入手できる会員制度を新設した。(実施は2016年4月1日)

④「新入会パンフレット」の作成

⑤『正会員会報』月刊/12回発行

⑥「郵趣手帳(Philatelic Diary)2016-2017」を作成し、維持会員及び正会員に無償配布した。

2. 交流事業

心豊かな潤いのある社会創造の理念に基づき、会員相互の交流と親睦を深めるとともに、郵便切手文化を国民の資源として共有・活用できる基盤作りを図った。

(1) 新春交歓会

①大阪・新春交歓会2016

会期：2016年1月16日(土)、会場：ホテルグランヴィア大阪(大阪市)、参加者：45名(前年度49名)。

②東京・新春交歓会2016

会期：2016年1月23日(土)、会場：日比谷松本楼「ラウンジ目白倶楽部」(豊島区)、参加者：62名(同45名)。

(2) 地方本部主催の郵趣大会

①東北郵趣大会2015in山形(第25回)

会期：5月30日(土)～5月31日(日)、会場：ヒルズサンピア山形(山形県山形市)、参加者：57名(前年度60名)、主催：北海道・東北地方本部

②関東郵趣大会2015in相模原(第31回)

会期：6月21日(日)、会場：ユニコムプラザさがみはら(神奈川県相模原市)、参加者：87名(同73名)、主催：関東地方本部

(3) コミュニティ通貨「フィラ」

発行数：25,297枚、流通数：1,034枚(流通率4.1%)

2015年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

2016年6月

公益財団法人 日本郵趣協会